

REX

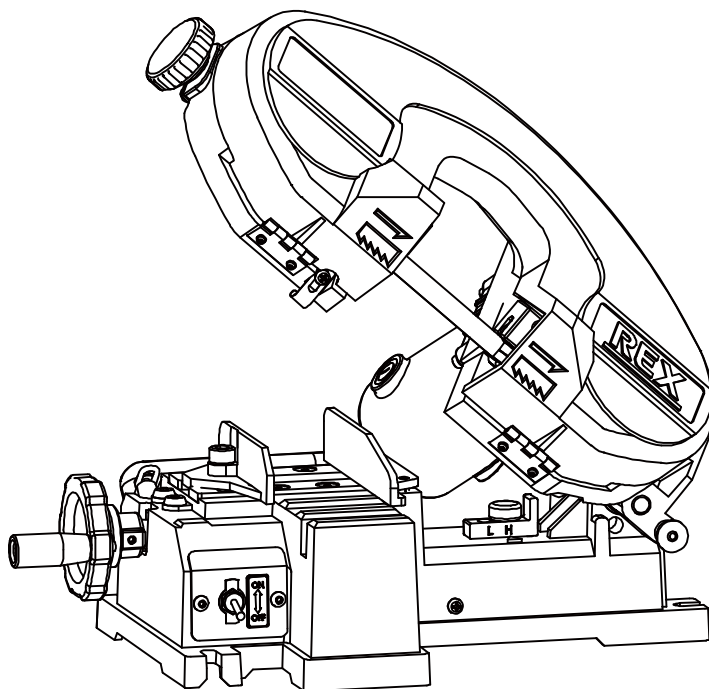
バンドソー切断機

50/60Hz

MANTIS
マンティス 65A

XB65A

取扱説明書



**ご使用前に必ず
お読みください**

—お願い—

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- なお、この取扱説明書は、お使いになる方が必要なときに、いつでも見られるところに大切に保管してください。

購入年月： 年 月

お買上げ店名：

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全にご使用いただくために」の項目を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全にご使用いただくために」の項目すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・ この取扱説明書に記載されていること以外の取扱いをしないでください。

目 次

安全にご使用いただくために.....	1
マンティス 65A 使用上のご注意.....	3
各部の名称・標準仕様・標準付属品.....	4
ノコ刃の種類 (オプション).....	5
切断荷重とノコ刃の選定について.....	5
用途.....	5
作業準備.....	6
1. 運搬、設置.....	6
2. フレームロックの操作.....	6
3. 使用する電源について.....	7
4. ノコ刃の交換.....	8
5. 切断前の点検.....	9
切断準備.....	10
1. 切断荷重の調整.....	10
2. 切断材料の固定.....	11
切断.....	12
1. 切断作業.....	12
2. 切断中にノコ刃がスリップした場合.....	12
3. 切断中にモーターが停止した場合.....	13
4. 切断材料取外し.....	13
5. 切断終了.....	13
メンテナンス.....	14
1. 各部の手入れ.....	14
2. ブラシの交換.....	14
3. カーボンブラシの交換.....	15
修理をご依頼のときは.....	15
修理・サービスを依頼される前に.....	16

▲ 警 告 ▲ 注 意 の意味について

この取扱説明書では、注意事項を **▲ 警 告** と **▲ 注 意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

▲ 警 告 : 誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

▲ 注 意 : 誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

なお、「▲ 注 意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。

- ・ この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに弊社の代理店・販売店にご注文ください。
- ・ 品質、性能向上あるいは安全上、予告なく使用部品や仕様の変更を行う場合があります。その際には本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全にご使用いただくために

▲ 警 告

① 使用電源は正しい電圧で使用してください。

- ・必ず本体の銘板に、もしくは取扱説明書に定格表示してある電圧でご使用ください。表示電圧以外の電圧で使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあります。

② 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが OFF になっていることを確認してください。

- ・スイッチが ON の状態で差し込みプラグを電源に差し込むと、急に機械が動きだし思わぬ事故につながります。必ずスイッチが OFF になっていることを確認してください。

③ 感電に注意してください。

- ・濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。
- ・雨中や機械内部に水の入りやすい所では使用しないでください。
- ・アースは必ず接地してください。感電の恐れがあります。

④ 作業場での周囲状況も考慮してください。

- ・雨中、湿った場所、濡れた場所、機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。湿気はモーターの絶縁を弱めたり、感電事故のもととなります。
- ・ガソリン、シンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。引火、爆発の恐れがあります。

⑤ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。事故やケガの原因になります。

⑥ 次の場合は、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または、部品の交換、修理、掃除、点検をする場合。
- ・付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）。プラグが差し込まれたままだと、不意に本体が作動して、事故の原因になります。

⑦ 異常を感じたらすぐに運転を中止してください。

- ・運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動、異常音などに気がついた場合は直ちに機械の運転を中止してください。
- ・取扱説明書の「トラブルシューティング」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示に従ってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因になります。
- ・本体が発熱したり、発煙した場合は、むやみに分解せず、点検・修理に出してください。

⑧ 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ・作業台、作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。

⑨ 作業関係者以外は近づけないでください。

- ・作業者以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。
- ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。ケガの原因になります。

⑩ 無理して使用しないでください。

- ・指定用途以外には使わないでください。安全に能率良く作業するために、本体の能力に合った作業をしてください。無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、事故の原因になります。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑪ きちんとした服装で作業してください。

- ・ネクタイ、そで口のあいた服、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。着用している衣服のボタン、ファスナーなどはすべて閉めて作業を行ってください。回転部に巻き込まれ重大な事故やケガの原因になります。
- ・すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。
- ・屋外での作業の場合にはゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。またマフラーなどを着用して作業を行わないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・作業環境により、保安帽、保護メガネ、安全靴等を着用してください。

安全にご使用いただくために

⚠ 警 告

⑫ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してケガの原因になります。

⑬ レンチなどの工具類は、必ず取り外してください。

- ・スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままで作動させると、事故やケガの原因になります。

⑭ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。注意を怠ると、事故やケガの原因になります。
- ・疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。事故やケガの原因になります。

⑮ 電源コードは乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。
- ・コードを高熱のもの、油脂類、刃物類、角のつがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑯ 日頃から注意深く手入れをしてください。

- ・付属品や部品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・電源コードや差し込みプラグは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。また、屋外で使用する場合には、屋外使用にあった延長コードを使用してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。すべて、ケガの原因になります。

⑰ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・差し込みプラグやコードが破損している機械は使用しないでください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。

⑱ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

⑲ 機械の分解・修理は、専門店で依頼してください。

- ・当社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

⑳ 定められた用途以外には使用しないでください。

- ・用途以外に使用すると、事故やケガ、破損などの原因になります。

マンティス 65A 使用上のご注意

⚠ 警 告

- ① **回転中のノコ刃に触れないでください。**
 - ・運転中や、スイッチを OFF にしてからしばらくの間など、ノコ刃が動いているときは絶対にノコ刃や回転部に触れないでください。巻き込まれ事故やケガの原因になります。
- ② **切断作業中は手袋をしないでください。**
 - ・回転部に巻き込まれ事故やケガの原因になります。
- ③ **異常時は直ちに運転を中止してください。**
 - ・運転中、機械の調子が悪かったり、異常が発生した場合は直ちにスイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてください。
- ④ **フレームカバーは必ず閉じた状態で使用してください。**
 - ・フレームカバーを開けずに運転するとノコ刃や回転部に巻き込まれ、事故やケガの原因になります。
- ⑤ **ノコ刃交換時や切断材料取付け時は必ずスイッチが OFF になっていることを確認してください。**
 - ・特にノコ刃交換時はスイッチを OFF にするだけでなく、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ⑥ **ノコ刃は確実に取付けてください。**
 - ・切断中に外れ、ケガや事故の原因になります。
- ⑦ **ノコ刃、切断材料に付着した油は必ず拭き取ってから使用してください。**
 - ・ノコ刃には出荷時防錆油が塗布されていますので、取付け前に必ず拭き取ってください。そのまま使用するとノコ刃のスリップや、外れの原因になります。
 - ・切断材料に油が付着している場合も同様に拭き取ってください。
 - ・切断時、切削油などをノコ刃に注油しないでください。
- ⑧ **回転するノコ刃で、コードを切断しないよう注意してください。**
 - ・感電の恐れがあります。
- ⑨ **ノコ刃を回転させたまま、放置しないでください。**
 - ・けがの原因になります。

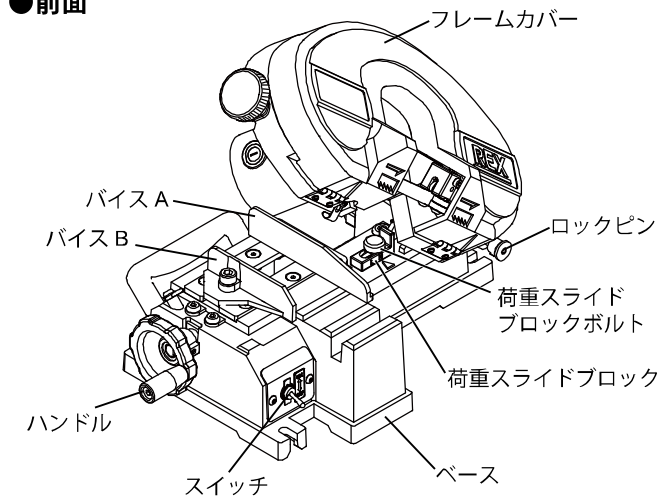
⚠ 注 意

- ① **切断時、フレームを急激に落下させないでください。**
 - ・ノコ刃などの破損の原因になります。
- ② **本機に強い衝撃を与えないでください。**
 - ・本機は厳密な精度で加工されていますので、転倒させたり、運搬時に落下させると、破損などの原因になります。
 - ・運搬時は落下に注意してください。機械が破損するばかりでなく、足の上などに落下すると事故やケガの原因になります。
- ③ **切断直後の切断材料、ノコ刃に素手で触れないでください。**
 - ・切断直後の切断部やノコ刃は高温になっていますので、素手で触れないでください。火傷などケガの原因になります。
- ④ **電源は必ず AC100V を使用してください。**
 - ・AC100V 以外の電圧で使用するとモーターが焼損し、破損や事故の原因になります。
- ⑤ **本体は平坦な場所に設置し、安定した状態で使用してください。**
 - ・傾斜した地面への設置は避け、必ず平坦な場所に設置してください。作業中に転倒し、事故やケガの原因になります。
- ⑥ **切断材料はしっかりと固定してください。**
 - ・固定が不十分だと切断中に材料が動き、ノコ刃が破損したり、振動の原因になります。
 - ・束ね切りを行う場合は、切断するすべての材料が固定されていることを確認してください。
- ⑦ **切断材料に適した純正のノコ刃を使用してください。**
 - ・ノコ刃は必ず純正品を使用し、切断材料に適したものを使用してください。
- ⑧ **切断材料に適した荷重で切断してください。**
 - ・無理な荷重で切断したり、切断中にフレームを押し付けたりすると、斜め切れやノコ刃の欠け、折損、モーターロックなどの原因になります。
- ⑨ **防音保護具を着用してください。**
 - ・耳栓、イヤーマフなどの防音保護具を着用してください。

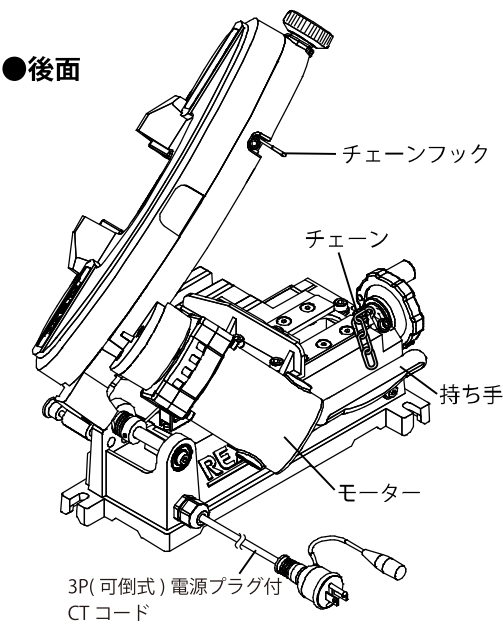
各部の名称・標準仕様・標準付属品

各部の名称

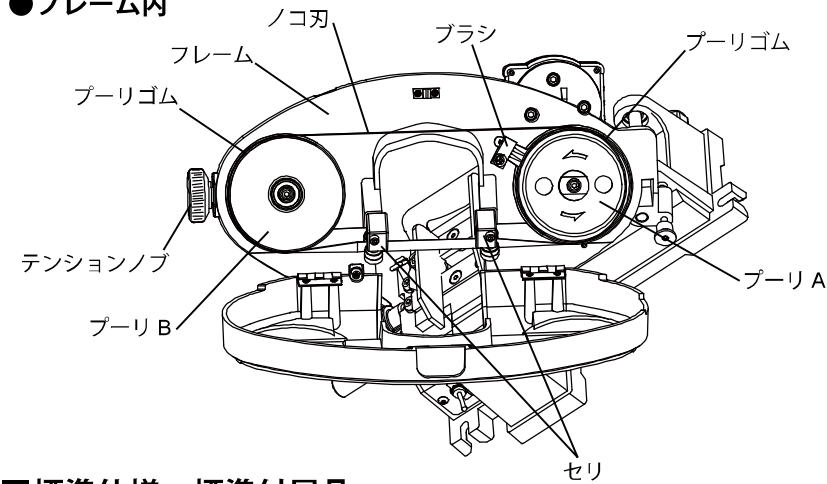
●前面



●後面



●フレーム内



標準仕様・標準付属品

型 式	XB65A	XB65ASU
仕 様	鋼管仕様	薄肉ステンレス管仕様
バ イ ス 方 式	平バイス	
切 断 能 力	パイプφ65mm □60mm, 丸棒φ40mm	
電 源	単相交流 100V (50/60Hz)	
モ ー タ ー	単相シリースモーター 260W	
プーリー回転数	275min ⁻¹	
機 械 寸 法	480(L) × 310(W) × 230(H)mm	
質 量	11kg	
標 準 付 属 品	帯ノコ刃 ハイス 14/18 山 (品番 No.475260) × 1 本	帯ノコ刃 ハイス 24 山 (品番 No.475261) × 1 本

表 1

ノコ刃の種類 (オプション)

ノコ刃は必ず次表の純正品を使用してください。

品番	ノコ刃の材質	山数 (山／インチ)	単位 (1 箱)
475260	ハイス	14/18 山 (コンビネーション)	3 本
475261		24 山	

表 2

切断荷重とノコ刃の選定について

切断材料の種類、径、肉厚などに合わせて最適な荷重とノコ刃を選定してください。

切断材料			ハイス	
			14/18 山	24 山
配管用炭素鋼鋼管（呼び径）		8A ～ 10A	L	
		15A ～ 50A	H	
ステンレス鋼鋼管（呼び径）	スケジュール 40	8A ～ 10A	L	
		15A ～ 50A	H	
	薄肉管（SU 管）	13Su ～ 60Su		L
樹脂管（塩ビ管、ポリエチレン管）			L	L
電線管		厚鋼	L	
		薄鋼	L	L
軟鋼材（肉厚）	形鋼材	1.9 mm 以下		L
		2.0mm 以上	H	
	棒材	15 mm 以下	L	
		16 ～ 40 mm	H	

表 3

L＝軽荷重 H＝重荷重

※ 上記表は目安ですので、切断材料に応じてノコ刃切断荷重を選定してください。

※ ノコ刃の山数の選定は、切断材料の肉厚にノコ刃の山が 2 山かかることを基準に選定してください。

※ 樹脂管などは L 荷重でも切断荷重が重く、斜めに切れる場合があります。その際は、フレーム先端のテンションノブを手で持ってゆっくりとフレームを降ろしながら切断してください。

用 途

● 鋼管、棒鋼などの各種軟鋼材の切断

※ 焼入鋼などの硬い材料は切断しないでください。ノコ刃が極度に磨耗します。

● ステンレス管や樹脂管の切断

※ 熱軟化性のプラスチック材料は切断しないでください。

切削時の熱により材料が溶けてノコ刃がくい込み、モーターが焼損する原因になります。

作業準備

1. 運搬、設置 (図 8～図 9)

▲ 注 意

運搬の際は落下に注意してください。機械が破損するばかりでなく、足の上などに落下するとケガや事故の原因になります。

運搬方法 (図 8、図 9)

- ① チェーンをチェーンフックに掛けてから持ち手を持って運搬してください。(梱包時の製品はチェーンがチェーンフックに掛かっています。)

設置方法

- ① 平坦な場所を選んで設置してください。

▲ 注 意

設置は平坦で安定した場所に行ってください。傾いた場所などに設置すると作業中に転倒し、事故やケガの原因になります。

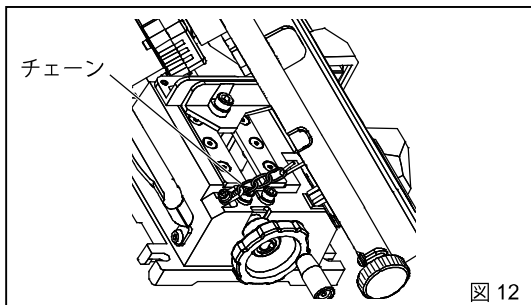
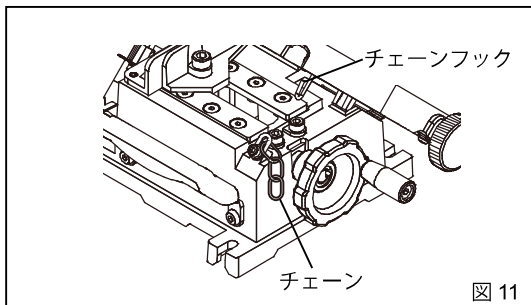
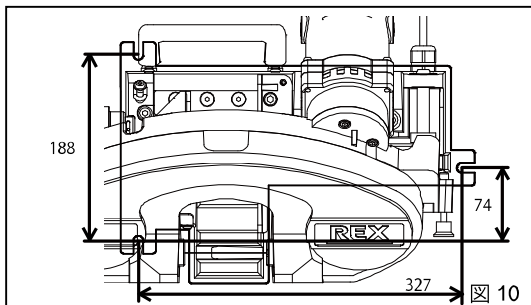
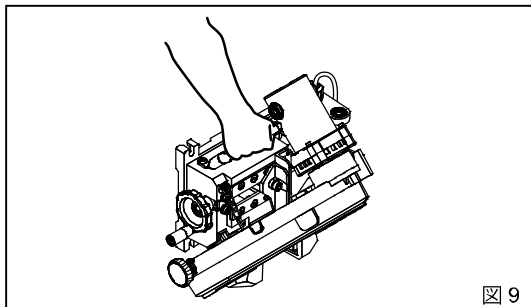
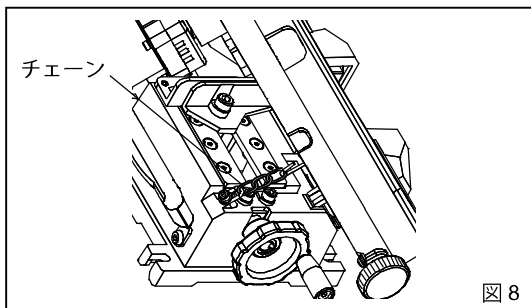
- ② 固定する場合は、図 10 の寸法を参考に M8 のボルトなどで固定してください。

2. フレームロックの操作 (図 11～図 12)

- ① フレームロックを解除する場合は、フレーム先端側にあるチェーンをチェーンフックから外してください。
- ② チェーンが外れている状態になればロックが解除されています。運搬の際はチェーンをチェーンフックに掛けてから運んでください。

▲ 注 意

運搬の際はチェーンがチェーンフックに掛かっていることを確認してください。チェーンがチェーンフックに掛かっていないまま持ち手をもち、運ぼうとすると、フレームが開いて危険です。(図 12)



作業準備

3. 使用する電源について (図 13)

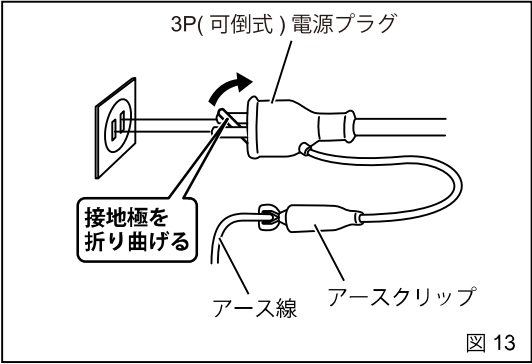
AC100V の電源を使用してください。その際、以下の項目について確認してください。

漏電遮断器の確認

接続する電源に、労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器（以下漏電遮断器）が設置されていることを確認してください。

接地（アース）の確認

本機は必ず接地（アース）を行い使用してください。定格感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電遮断器の設置されている電源で使用する場合でも、安全のため、接地（アース）を行ってください。



⚠ 警 告

接地（アース）線をガス管に取付けると爆発します。
絶対に行わないでください。

アースは、接地極のある電源コンセントに 3P(可倒式) 電源プラグを差し込んで行ってください。接地極のない電源コンセントに接続するときは、接地極を折り曲げて電源コンセントに差し込み、アースクリップを使用してください。(図 13)

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、接地線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。ので、お近くの電気工事店にご相談ください。漏電遮断器や接地（アース）については次の法規がありますので、参照してください。

- ・労働安全衛生規則（第 333 条、第 334 条）
- ・電気設備の技術基準（第 18 条、第 28 条、第 41 条）

延長コードを使用する場合

電源の位置が離れていて延長コードが必要な場合は、十分な太さのものをできるだけ短くして使用してください。

表 4 は本機で使用するこのできる延長コードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示しています。

漏電遮断器の設置されていない電源の場合は必ず接地（アース）できる接地用の 1 芯を持つ 3 芯キャプタイヤケーブルを使用してください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	10 m
2.0 mm ²	15 m
3.5 mm ²	30 m

表 4

⚠ 警 告

延長コードは必ず損傷のないものを使用してください。

作業準備

4. ノコ刃の交換 (図 14 ~ 図 18)

切断する材料にノコ刃が適しているか確認し (P.5 参照)、適していない場合はノコ刃を交換してください。

⚠ 警告

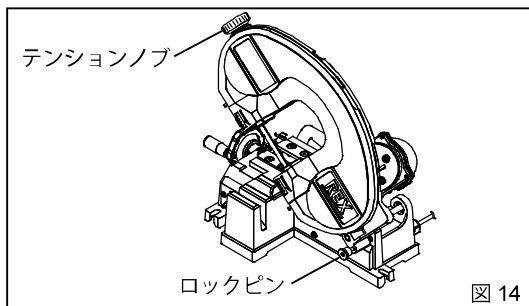
- ・ ノコ刃の交換の際は必ず電源プラグを電源から抜いた状態で行ってください。不意に起動してケガや事故の原因になります。
- ・ 素手で直接刃先に触れないでください。ケガの原因になります。交換の際は手袋、保護メガネを着用してください。

新品のノコ刃を取付けるときは

- ① ノコ刃のスリップ防止のため、ノコ刃に付着している防錆油は完全に拭き取ってから取り付けてください。また、同時にプーリーやベアリングに付着した油や切粉も拭き取ってください。
- ② 新品のノコ刃は刃欠けや斜め切りになりやすいため、ならし切断を必ず行ってください。
ならし切断：荷重は L 荷重にセットし、25A 程度の SGP 管を 1 ~ 2 回切断してください。

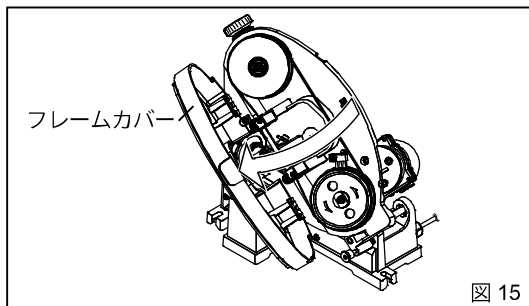
フレームカバーの開き方

- ① フレームの先端についているテンションノブを持ち、フレームを 45 度の角度まで上げ、フレーム下部にある赤いロックピンをベースの穴に押し込み、フレームを上げた状態で固定します。(図 14)
 - ② フレームカバーの上部に凹みがあり、そこに指を引っ掛けて、引っ張るとフレームとフレームカバーが扉状に開きます。(図 15)
- ※ フレームとフレームカバーは蝶番で結合されているので、分離することはできません。



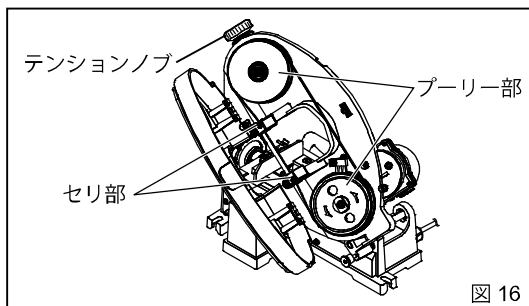
⚠ 警告

- ・ フレームカバーを開く際はノコ刃の飛び出しに注意してください。事故やケガの原因になります。特に破断したノコ刃を交換する場合、ノコ刃が飛び出しやすいので、十分に注意しながらゆっくりとフレームカバーを開いてください。



ノコ刃の取外し (図 16)

- ① フレーム先端にあるテンションノブを反時計方向に回すとノコ刃の張りが緩みます。テンションノブは途中で停めずに限界まで回してノコ刃の張りを緩めてください。
- ② セリ部からノコ刃を外します。
- ③ プーリー部からノコ刃を外します。



作業準備

ノコ刃の取付け (図 17)

- ・ プーリゴムに付着している切粉を取り除いてください。
- ・ 図 17 の①～④順でノコ刃を取り付けます。
最後にテンションノブを時計方向に限界まで回し (⑤)、ノコ刃を張ります。

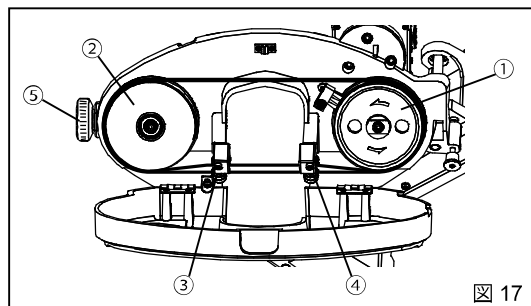


図 17

取付けの確認 (図 18)

- ・ ノコ刃が正しくセットされているか確認してください。
 - ・ セリベアリングの奥まで入っていること
 - ・ プーリーのつばに乗り上げていないこと
- ・ 電源プラグをコンセントに接続し、スイッチを数回素早く ON→OFF すると、ノコ刃がプーリーの正しい位置にセットされます。
- ・ 取付けが完了したら必ずフレームカバーを閉じてください。

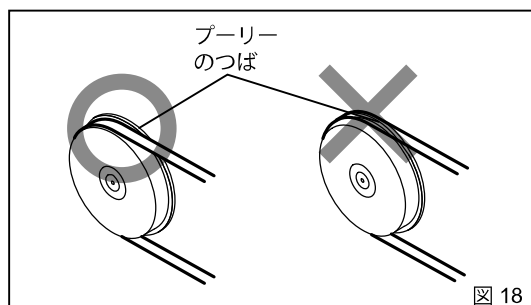


図 18

5. 切断前の点検 (図 19)

- ① 電源プラグをコンセントに接続します。
- ② フレームを上げた状態でベース右面前側にあるスイッチを ON にします。
- ③ 以下の点を確認してください。
 - ・ モーターや回転部から異常音などがしないこと
 - ・ ノコ刃が外れたり、ずれたりしないこと
 - ・ フレームを下ろし、スイッチが OFF になること
- ④ 確認が終わったら、電源プラグをコンセントから一旦、外しておいてください。

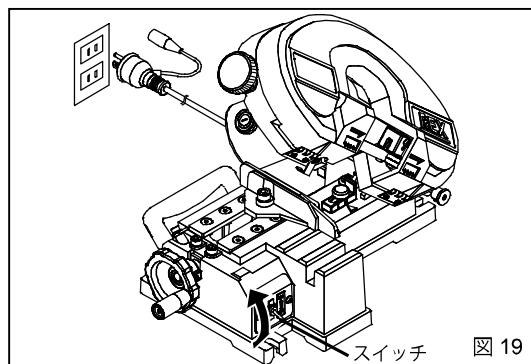


図 19

▲ 警告

切断前の点検は、フレームカバーが必ず閉じた状態で行ってください。点検中にノコ刃が外れると、飛び跳ねて顔などに当り、事故やケガの原因になります。

切断準備

1. 切断荷重の調整 (図 20 ～図 22)

切断荷重は、切断精度やノコ刃の寿命に影響します。

P.5 の表 3 を参考にして、切断材料に合った荷重に調整してください。より切断精度を重視する場合は、表より軽い荷重での切断をおすすめします。

- ① フレームを垂直な状態まで持ち上げ、フレーム下部に付いているロックピンをベースの穴に差し込み、フレームを固定します。(図 20)
 - ② モーター付近にあるベース上面の荷重スライドブロックボルトを、荷重スライドブロックがスライド出来る程度まで、反時計方向に回します。(図 21) 荷重スライドブロックボルトを緩めすぎると、ベースから外れるため、外れない程度に緩めて操作をしてください。
 - ③ 荷重スライドブロックをスライドさせ、側面の切断荷重を表す「H」または「L」をベース上面の△マークに合わせます。(図 22)
- ※ P.5 の表 3 「切断荷重とノコ刃の選定について」を参考にしてセットしてください。
- ④ 荷重スライドブロックボルトを時計方向に回し、荷重スライドブロックを固定します。

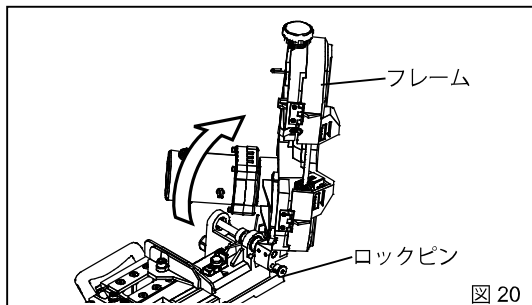


図 20

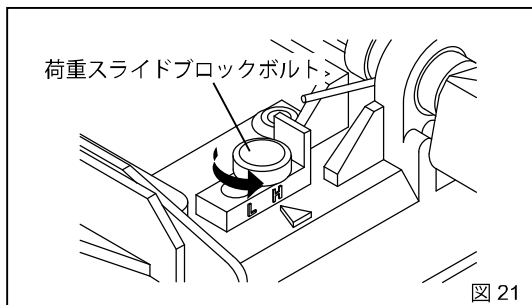


図 21

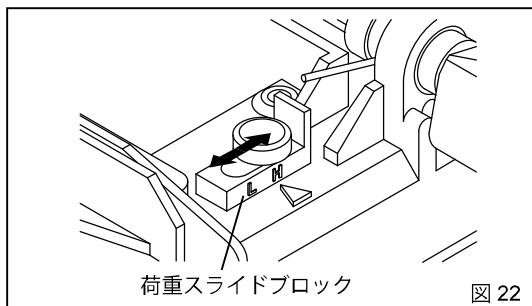


図 22

切断準備

2. 切断材料の固定

▲ 警 告

- ・ ノコ刃を回転させたまま、切断材料の取付け、取外しをしないでください。切断材料や手などが回転中のノコ刃に巻き込まれて、事故やケガの原因になります。

▲ 注 意

- ・ 切断材料がしっかりと固定されていることを確認してください。固定が不十分だと、切断が不安定になり、機械が破損するばかりではなく、事故やケガの原因になります。
- ・ 繰り返し切断を行う場合でもフレームを持ち上げた際には、必ずロックピンをベースの穴に差し込み、フレームを固定するようにしてください。フレームを固定しないまま切断材料の着脱を行うと、不意にフレームが降下してくる場合があるため、事故や怪我の原因になります。

① ハンドルを反時計方向に回し、送りねじのロックを解除した後、切断材料を置くことができる程度までバイス B を移動させます。(図 23)

② バイス A に沿うように切断材料を乗せます。(図 24)

※ 切断材料固定部のバイス面や底面に切粉が付着している場合は、清掃してから切断材料を乗せてください。切粉が付着したまま切断材料を乗せると、切断精度が悪くなります。

※ 切断材料は切断肉厚が急激に変化しない方向にセットしてください。(図 25) 切断中に肉厚が急激に変化すると刃欠け、斜め切れ、モーターロックなどの原因になります。

※ 長尺物の場合は水平になるように片側を受台などで支えてください。

③ ハンドルを時計方向に回してバイス B を送り、切断材料に軽く当てます。(図 26)

④ 切断材料が浮き上がらないように上から押さえつけながら、ハンドルを時計方向に回して、切断材料をしっかりと固定します。(図 26)

※ 切断材料は切断材料固定部の底面に必ず密着させ、浮き上がらないように固定してください。

浮き上がった状態で固定すると斜め切断の原因になります。

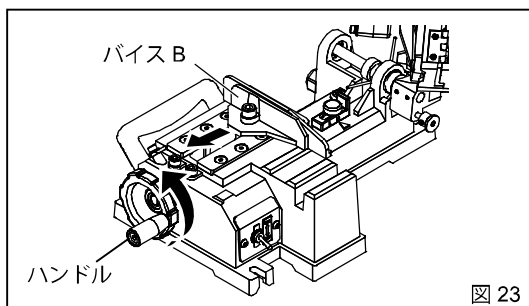


図 23

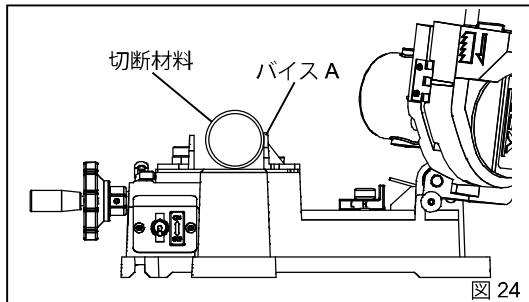


図 24

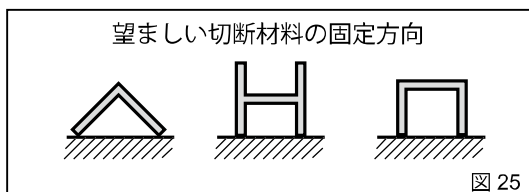


図 25

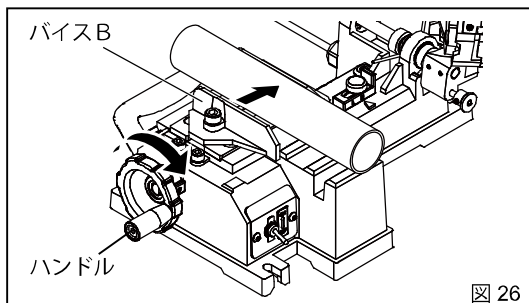


図 26

切断

1. 切断作業 (図 27～図 30)

① 電源プラグをコンセントに接続します。(図 27)

⚠ 警告

- ・ プラグを差し込む前には必ずスイッチが OFF になっていることを確認してください。不意に起動してケガや事故の原因になります。
- ・ 切断作業中は手袋をしないでください。回転部に巻き込まれ事故やケガの原因になります。

② フレーム先端にあるテンションノブを持ち、フレーム下部のロックピンを引きフレームロックを解除します。(図 28)

③ ベース右面前側にある電源スイッチを ON にし、ノコ刃を回転させます。(図 28)

④ ノコ刃が十分に回転速度を上げてからゆっくりとフレームを降ろして切断材料の上にノコ刃を乗せます。(図 29)

※ 切断材料の上にノコ刃を乗せた状態でスイッチを ON にしないでください。ノコ刃の損傷や斜め切断の原因になります。

※ ノコ刃を急激に切断材料に落とさないでください。ノコ刃の損傷や斜め切断の原因になります。

※ 切り始めは切断の筋ができるまで、手で支えながら切断を行ってください。切断の筋ができたら手を離します。

※ 樹脂管などはし荷重でも切断荷重が重く、斜めに切れる場合があります。その際は、フレーム先端のテンションノブを手で持ってゆっくりとフレームを降ろしながら切断してください。

⑤ 自動的に切断し、切断が終了するとスイッチが OFF になり停止します。(図 30)

⚠ 注意

切断直後の切断材料やノコ刃は高温になっていますので、素手で触れないでください。火傷などケガの原因になります。

2. 切断中にノコ刃がスリップした場合

- ・ 切断材料やマシンの各部（ノコ刃、プーリ、ベアリング）に油などが付着していると、切断中にノコ刃とプーリがスリップし、プーリの空転状態となります。その場合は直ちにスイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いた上で、切断材料やマシン各部に付着した油を拭き取ってください。

※ ノコ刃がスリップした状態で運転を続けると、プーリゴムの焼損や、プーリの破損の原因となります。

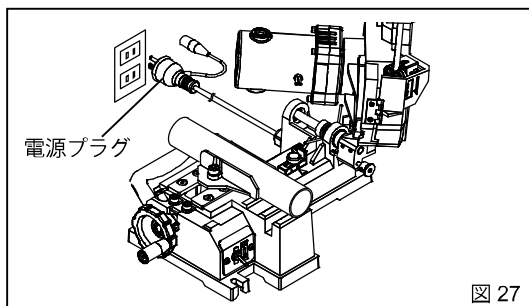


図 27

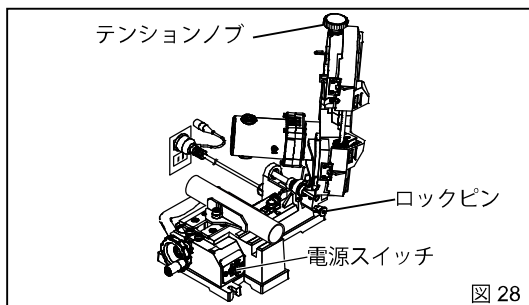


図 28

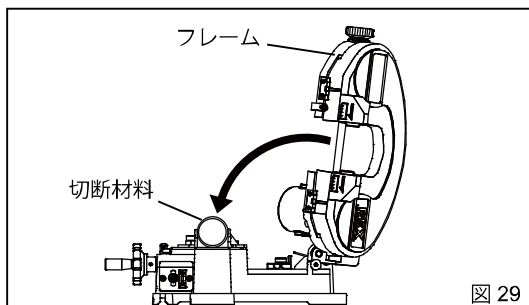


図 29

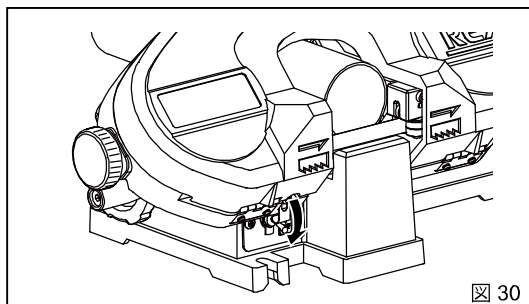


図 30

切断

3. 切断中にモーターが停止した場合 (図 31)

- ・ 切断中に無理な荷重がかかったり、ノコ刃が切断材料にかみ込んでロックする場合があります。
ロックした場合、モーターが発熱し、モーターの温度上昇によってモーター内部に取り付けられている温度プロテクターが作動し、モーターの回転が停止します。
温度プロテクターが作動した場合は、スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてから、ロックした原因を取り除いてください。また、直ぐに作業を再開すると、モーターの温度が下がりきっていないため、温度プロテクターが再び作動します。モーターの温度が十分に下がるまで、作業を再開しないでください。

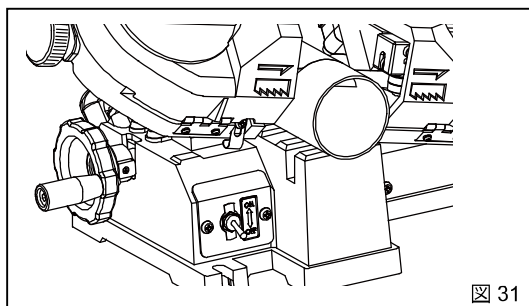


図 31

4. 切断材料取外し (図 32 ~ 図 33)

- ① フレーム先端のテンションノブを持ち、フレームを垂直状態まで持ち上げてフレーム下部のロックピンを押し込み、ベースの穴に挿してフレームを固定します。
 - ② ハンドルを反時計方向に回して切断材料の固定を解除します。
 - ③ 切断材料を取り外します。
- ※ 繰り返し切断を行う場合は、プレートの上に切粉が付着していないように、清掃してから切断材料を乗せてください。切粉が付着したまま切断材料を乗せると切断精度が悪くなります。

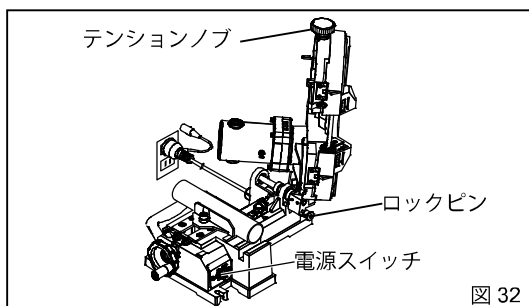


図 32

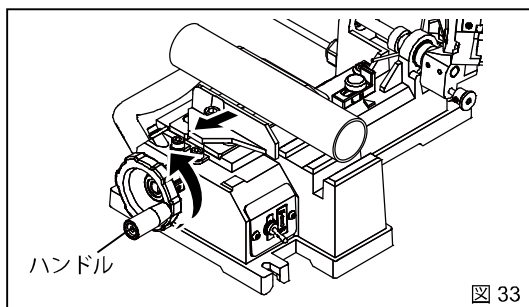


図 33

5. 切断終了 (図 34)

- ① バイス B がバイス A に当たる状態にしハンドルを軽く時計方向に回して固定します。
- ※ 切断時に出た切粉などは清掃し、取り除いてください。
※ 被覆管などを切断した際に発生した樹脂などの切粉がフレーム内部のプーリに付着すると、ノコ刃のスリップの原因になります。必ず取り除いてください。

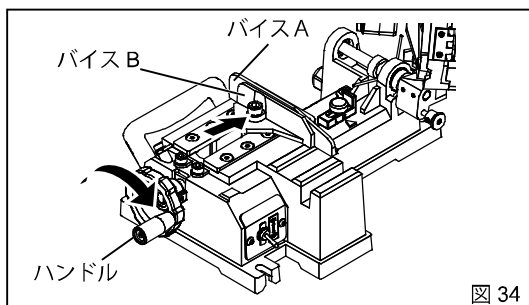


図 34

メンテナンス

▲ 警 告

- ・ 点検・手入れをする時には、必ずスイッチを OFF にし、さらに差し込みプラグを電源から抜いて作業してください。接続をしたままでは不意に作動して、ケガの原因になります。
- ・ 点検・手入れの時に異常が発見されたら、「修理・サービスを依頼される前に」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示にしたがってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因になります。

1. 各部の手入れ (図 35)

●ノコ刃の点検

- ・ ノコ刃に刃欠けや、損傷がないことを確認してください。刃欠け、損傷がある場合はノコ刃を交換してください。
- ・ 切れ味が悪くなったノコ刃をそのまま使用すると、斜め切れの原因になります。

●各部取付けねじの点検

- ・ 各部の取付けねじが緩んでいないことを確認してください。緩んでいる場合は締め直してください。

●電気まわりの点検

- ・ 電源プラグ、コードなどに損傷がないことを確認してください。損傷がある場合は交換してください。

●セリ部の点検

- ・ セリのベアリングが、摩耗していないことを確認してください。摩耗していると鋸刃がベアリングに接触しないことがあります。切断精度に影響しますので、ベアリングを交換してください。

●清掃

- ・ 本体やプーリーに付着している切粉やゴミなどを布などを使用して拭き取ってください。

※ モーター部は水で濡らさないように注意してください。

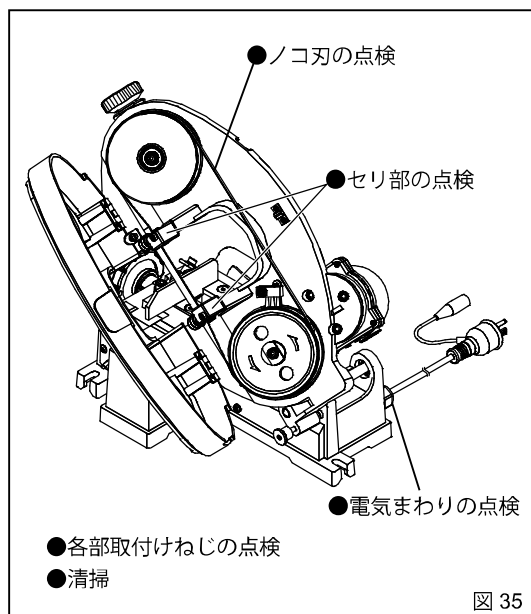


図 35

2. ブラシの交換 (図 36)

本機の駆動側プーリーには樹脂の切粉などによるノコ刃のスリップを軽減するため、ブラシが装着されています。ブラシは消耗品ですので、クリーニング性能が落ちた際には交換してください。

- ① ビスをプラスドライバーで緩め、ブラシとビスを外してください。
- ② 新しいブラシを元のとおりに取り付け、ビスを締め付けてください。

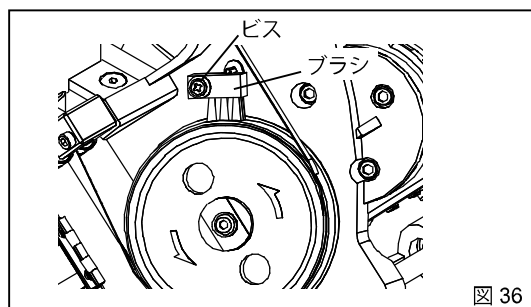


図 36

メンテナンス

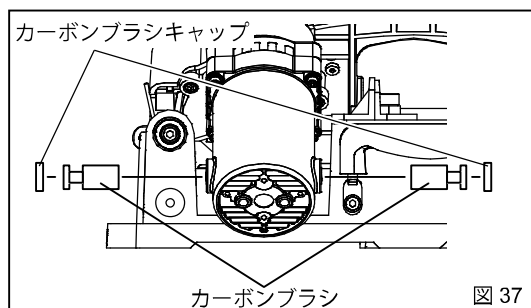
3. カーボンブラシの交換 (図 37)

- ・ モーター保護のため、このマシンにはオートストップ式カーボンブラシが装備されています。そのため使用限度まで摩耗するとスイッチを ON にしてもモーターは回転しません。
- ・ カーボンブラシは必ず当社指定品を使用してください。当社指定品以外ではモーター性能が悪くなったり、故障の原因になります。

▲ 注 意

- ・ カーボンブラシは必ず両方とも交換してください。
- ・ カーボンブラシは必ず当社指定品を使用してください。
- ・ カーボンブラシを交換する際は、本体を安定させた状態で行ってください。本体を傾けた状態で作業すると、転倒や落下の恐れがあり、大変危険です。

- ① モーターに付いているカーボンブラシキャップをマイナスドライバーで外して、カーボンブラシを交換してください。



修理をご依頼のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で分解・修理をなさらないで、最寄りのレックス製品取扱店・レックス認定修理店にご用命ください。

レックス製品取扱店・レックス認定修理店につきましては REX WEB サイトで紹介していますので検索ください。また、巻末のトラブルシューティングに該当する項目や指示がない場合は、弊社各営業所もしくはお客様相談窓口にお問い合わせください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上で不明の点がございました場合にも遠慮なくお問い合わせください。



<http://www.rexind.co.jp/jp/store/>

メンテナンス部品の保有期間について

本製品のメンテナンス部品の供給は製造停止後 7 年とします。ただし電子部品は 5 年とします。

修理・サービスを依頼される前に

製品に異常が生じたときは、次の点をお調べの上、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

⚠ 警 告

- ・ 該当する項目や指示がない場合は、ご自分で分解したり修理したりしないでください。
- ・ 該当する項目や指示がない場合、あるいは「修理・サービスを依頼してください」の指示がある場合には、必ずお買い求めの販売店、当社にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。製品に異常が生じたときは、次の点をお調べの上お買い上げの販売店、または当社にご連絡ください。

■トラブルシューティング

症 状	原 因	対 策
斜め切れ	ノコ刃の取付け不良	ノコ刃をセリ、プーリーに正しくセットする
	ノコ刃の急激な落下	ノコ刃を静かに降ろす
	使用している、またはノコ刃の摩耗	ノコ刃を新品と交換する
	ノコ刃の山数が切断材料に合っていない	切断材料に適したノコ刃に交換する (P.5)
	セリ部ベアリングの摩耗	ベアリングを新品と交換する (修理・サービスを依頼してください)
	切断中に切断材料が動いた	切断材料をバイスでしっかり締付ける
	切断材料の締付け状態が悪い	長方形のものは高さ方向がなるべく低くなるように締付ける
	テンションノブの締付け不足	テンションノブを時計方向に限界まで締め付ける
	純正品以外のノコ刃を使用している	純正品のノコ刃を使用する
切断時間が長い	切断荷重が軽い	切断材料に適した荷重にする (P.5)
	ノコ刃山数が切断材料に適していない	切断材料に適したノコ刃に交換する (P.5)
	ノコ刃の摩耗	ノコ刃を新品と交換する
切断中に振動が発生する	テンションノブがしっかり締付けられていない	テンションノブを時計方向に限界まで締め付ける
	切断材料がしっかり締付けられていない	切断材料をしっかり締付ける
	ノコ刃の刃欠けや亀裂	ノコ刃を新品と交換する

表 5

修理・サービスを依頼される前に

症 状	原 因	対 策
ノコ刃がスリップする ノコ刃が外れる	ノコ刃の取付け不良	ノコ刃をセリ、プーリーに正しくセットする
	ノコ刃に油が付いている	ノコ刃の油を拭き取ってセットする
	切断材料に油が付いている	切断材料の油を拭き取ってセットする
	プーリー、セリのベアリングガイドローラーに油が付いている	各部の油を拭き取る
	テンションノブの締め付けが不足している	テンションノブを時計方向に限界まで締め付ける
	プーリゴムの摩耗	プーリゴムを新品に交換する 修理・サービスを依頼してください
	プーリゴムに樹脂や切粉が付着している	プーリゴムを清掃する
	ブラシの摩耗	ブラシを新品に交換する (P.22)
モーターが回らない	差し込みプラグが電源から外れている	電源プラグをコンセントに接続する
	電源コードの断線	修理・サービスを依頼してください
	スイッチの故障	修理・サービスを依頼してください
	モーターの故障	修理・サービスを依頼してください
	カーボンの磨耗	カーボンブラシを新品に交換する(P.15)
	温度プロテクターが作動している	モーターの温度を下げる(P.13)
切断中にモーターが止まる	電源電圧が低い	100V 電源に接続しなおす
	温度プロテクターが作動した	モーターの温度を下げる(P.13)
	切断中に材料が動いた	切断材料を、プレート面に接した状態で しっかり締め付ける

表 6

保証・免責事項について

①無償修理保証について

- 無償修理保証期間はご購入後1年です。
- 本製品は正常な使用状態において万一故障した場合、無償修理またはサービス部品を無償供給します。
- 修理・サービス部品供給については、お客様との打合せにより日程・手順・方法等を決定し対応します。

②有償修理について

- 無償修理保証期間をすぎた場合は修理・サービス部品供給は全て有償になります。
- 無償修理保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、および不当な修理、改造による故障及び損傷
- (ロ) 用途以外に使用した場合
- (ハ) ご購入後の落下等による故障及び損傷
- (ニ) 非常に過酷な使い方をした場合
- (ホ) 刃物または消耗部品の場合

③次の場合は保証期間の内外を問わず、当社は一切責任を負いません。

- (イ) 使用上の誤り、および不当な修理、改造による故障及び損傷
- (ロ) 用途以外に使用した場合
- (ハ) ご購入後の落下等による故障及び損傷
- (ニ) 非常に過酷な使い方をした場合
- (ホ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、公害、異常電圧など外部に原因がある不具合または事故
- (ヘ) 本製品で成形したものを施工したために生じる不具合または事故
- (ト) 本製品の故障などに起因するお客様および第三者に生じた損害(機会損失・逸失利益・事故による損害・本製品以外の損傷などの二次損害を含む)

REX

レッキス工業株式会社

- | | | | |
|---------|------------------|---------|------------------|
| ●札幌営業所 | TEL 011-787-4611 | ●名古屋営業所 | TEL 052-351-1551 |
| ●仙台営業所 | TEL 022-232-1697 | ●大阪営業所 | TEL 072-961-1201 |
| ●東京営業所 | TEL 03-5393-6011 | ●広島営業所 | TEL 082-535-9600 |
| ●神奈川営業所 | TEL 027-253-8691 | ●九州営業所 | TEL 092-583-1110 |
| ●前橋営業所 | TEL 046-245-3981 | | |

最新の営業所お問い合わせ先はQRコードか<http://www.rexind.co.jp>よりご覧ください。

お客様相談窓口

0120-475-476

受付時間:月～金・9:00～12:00 13:00～17:00

商品の仕様は予告なく変更することがあります。



SN570-J2

2201R0200